

2019 年度 緑の国際ボランティア研修(タイ国)

2019 年度 緑の国際ボランティア研修(タイ国)が、公益社団法人 国土緑化推進機構主催、特定非営利活動法人環境修復保全機構共催により 2019 年 8 月に開催され、公募で募集・選考された研修員 8 名(社会人 2 名、大学生 6 名)が参加しました。

本研修は、国際緑化活動の重要性や緑の募金が果たす役割について研修員の理解を深めることを目指しており、7 月 25 日に公益社団法人国土緑化推進機構において事前研修を実施した後、8 月 7 日から 13 日までの 7 日間、タイ国に滞在し、チャイナート県、ナコンラーチャーシーマー県、パトタニ県を訪問しました。この間、研修員は、緑の募金事業による植林活動地の視察、現地住民との植林活動の実施、自然保護区域の視察、トレッキング体験、現地住民へのインタビューの実施等に取り組みました。研修の最後には、研修員と現地大学生サポーター(バディ)らが、「①森林保全・回復における住民参加の在り方」、「②環境面と経済面から考える緑化活動～ホテイアオ(Water Hyacinth)の活用等を事例として～」、「③タイおよび日本における環境教育による森林保全の促進」、「④森林保全を通じた野生動物保護(豹の保護を事例として)」の 4 テーマを発表し、現地大学生サポーター(バディ)らとともに、活発な議論を行いました。

【研修スケジュール】

	日時	活動	宿泊地
1	8/7 (水)	・成田国際空港より出発 (TG641、10:50 発) ・タイ国スワンナプーム国際空港着(15:20 着) ・現地集合*(午後)	バンコク近郊(パトタニ県)
2	8/8 (木)	・ラジャマンガラ工科大学訪問(タイ人研修員と合流) ・陸路移動(チャイナート県へ)	チャイナート県
3	8/9 (金)	・チャイナート県における森林管理状況の視察、地域住民と協働での植林活動	チャイナート県
4	8/10 (土)	・陸路移動(ナコンラーチャーシーマー県) ・自然保護区域の視察、トレッキング体験	ナコンラーチャーシーマー県
5	8/11 (日)	・ナコンラーチャーシーマー県における植林地の視察、地域住民と協働での植林活動	ナコンラーチャーシーマー県
6	8/12 (月)	・研修成果発表会(ラジャマンガラ工科大学内で実施) ・修了式 ・成田へ空路移動(現地解散*)(TG640、バンコク 22:10 発)	機内泊
7	8/13 (火)	・成田国際空港着(06:20 着)	

* 旅行業法により現地集合・現地解散ですが、随員スタッフが研修参加者の渡航便に同行しました。



タイ国・スワンナプーム空港に到着(2019年8月7日)



課題設定についてのディスカッション(ラジャマンガラ工科大学)
(2019年8月8日)



チャイナート県における学校(Rajaprajnugroh 46 School)訪問
(2019年8月8日)



チャイナート県における植林活動(地域住民と協働)
(2019年8月9日)



チャオプラヤダム訪問(濁水状況の視察)
(2019年8月9日)



研修成果発表会(ラジャマングラ工科大学)
(2019年8月12日)



研修成果発表会の準備
(2019年8月9日)



修了書授与式
(2019年8月12日)



ナコーンラーチャーシーマー県における植林活動
(地域住民と協働)(2019年8月11日)



グローバルフェスタ JAPAN 2019 における研修成果の説明
(2019年9月28日)



環境修復保全機構東南アジア事務局訪問(2019年8月11日)

参加した研修員からは「東南アジアにおける森林とその保全に関する知見を深めることができただけでなく、日本とタイにおける生活や文化の違いに関しても学ぶことができた」、「現地の方々と共に植林を行うことで活動における協働の大切さを実感した。この活動を次の世代にも続けてほしい」、「環境についての知識が深まり、環境問題への意識が高まった。所属している環境活動サークル等でもこの経験を活かしていきたい」、「今後、積極的に国内外における環境に関連したボランティア活動等に参加したい」等の声が寄せられました。また研修終了後の2019年9月、国際協力イベントグローバルフェスタ JAPAN 2019 に団体出展しました。研修の写真や成果報告会において使用したポスターの展示を行い、研修員が来場者に研修成果の説明を行いました。